

WHO WE ARE

私たちについて—SOS子どもの村とは



SOS CHILDREN'S
VILLAGES

A loving home for every child



はじめに

私たちがどんな子ども時代を過ごしてきたかが大人になると見えてきます。子ども時代はその後の人生の助けとなることも、あるいは妨げとなることもあります。それをどのように過ごしたかは極めて重要です。私たちの成長過程に影響を及ぼすのは、何でしょう？—喪失や傷ついた体験でしょうか、それとも愛されたことや大事にされた経験でしょうか。誰もが子ども時代はとても大切だと知っているのに、それでも子どもたちは、無視され、大人のいいように扱われ、虐待され、遺棄されています。

SOS 子どもの村は、子ども時代を通じて子どもの福祉に貢献し、子どもの遺棄や社会的ネグレクトを防止するために家族やコミュニティを強化することに力を注いでいます。

遺棄され、困窮し、精神性や身体的な面で深く傷ついている子どもたちの人生に安定を取り戻すこと、そして子どもたちを危機から救い、一人ひとりを支援し、子どもから大人になる過程に手を差し伸べていくことはとても難しい課題です。しかし同時に、それだけの価値のある課題でもあります。

大人に自らの子ども時代が大きく影響するように、私たちの組織にもこれまでの歴史が大きく影響しています。SOS 子どもの村のはじまりが、私たちの発展の原点です。そして、私たちが“成長”する中で、現在とは私たちの努力を評価するものさしであり、未来は挑戦なのです。SOS 子どもの村は、こうした伝統と現代性、プロ意識と思いやりとをあわせ持つことで、多くの子どもたちのために責任をもって行動します。

この文書「Who We Are(私たちについて)」は、世界の子どもたちの利益となる真の社会変革の全体的な枠組みや、それに向けた私たちのモチベーションと実践を定義するものです。私たちのビジョンとは、子どもたちが、家族、安全と安心、愛情と尊敬を通じて、子どもが子どもとして育つ権利と健全な発達を遂げる権利を享受できるようにすることです。私たちは、これを実現するために一步一步努力を重ねていきます。



HELMUT KUTIN, PRESIDENT

会長 ヘルムート・クティン





私たちのルーツ

SOS子どもの村とは

最初の SOS 子どもの村は、ヘルマン・グマイナーによって 1949 年にオーストリアのイムストに設立されました。彼は、支援を必要としている子どもたち—第二次世界大戦で家や家族、安全を失った子どもたち—を助けることに生涯を費やしたのです。多くの寄付者や職員の支援で、私たちの組織は、世界中の子どもたちを助けるまでに成長してきました。

私たちは、独立した NGO として子どもたちのために活動します。私たちは、多様な宗教や文化を尊重し、私たちのミッションがその発展に貢献できる国や地域を活動の場としています。私たちは、国際連合の子どもの権利条約の精神に則って活動し、子どもの権利条約で認められた子どもの諸権利を世界中で推進します。



SOS子どもの村のコンセプトに基づいて、私たちは、家族を失くした子どもや遺棄された子どもを家庭的な環境で長期的に養育する草分けとなりました。



マザー

すべての子どもは育んでくれる親をもちます

SOS マザーは、自分に託された子ども一人ひとりと親密な関係を築き、子どもたちが必要とする愛情や安全と安心、そして安定をもたらします。子どもの養育のプロとして、SOS マザーは、子どもたちと生活をともにし、その発達を導き、独立して家庭を築きます。また、子どもたち一人ひとりの家族の背景や文化的なルーツ、宗教を認め、尊重します。



兄弟姉妹

家族の絆は自然に育まれます

さまざまな年齢の男の子や女の子が、きょうだいとして一緒に生活し、実の兄弟姉妹は必ず同じ SOS ファミリーに入ります。子どもたちと SOS マザーは、生涯続く情緒的な絆を築きます。

SOS子どもの村のコンセプトは、4つの原則に基づいています

4つの原則



家

それぞれの家族は、自分たちの家庭を築きます

家は、その家族の「我が家」であり、そこには、その家族それぞれの感覚やリズム、習慣があります。それぞれの家で、子どもたちは心から安心して、ここにもよいのだという実感を得るのです。子どもたちは、責任と、日々の生活の喜びや悲しみのすべてを共有しながら、共に学び、成長します。



村

SOSの家族は、地域社会の一員です

SOSの家族は、子どもたちが幸せな子ども時代を楽しめる、協力的な「村」をつくり、一緒に生活しています。村に住む家族同士で経験を共有し、互いに助け合います。また、地域社会にもとけ込み、地域に貢献していきます。家族、村、地域社会を通じて、子どもたちは、社会に積極的に参加することを学びます。

私たちのビジョン

SOS 子どもの村が、世界の子どもたちのために望むこと



すべての子どもは家族の一員として、
愛され、尊重され、安全な環境で成長します。





すべての子どもは 家族の一員です

家族は社会の中心です。家族の中で子どもは守られ、帰属意識を持ちます。ここで子どもは価値観を学び、責任を分かち合い、生涯続く関係を築くのです。家族という環境は、子どもたちが自分の人生を築くためのしっかりとした土台となります。

すべての子どもは 愛されて育ちます

愛され受け入れられることで心の傷は癒され、自信が生まれます。子どもたちは、信頼することを学び、自分と他者を信じられるようになるのです。こうして自信がつくと、子どもたち一人ひとりが自分の持っている可能性に気づき、伸ばしていけるようになります。



すべての子どもは 尊重されて育ちます

一人ひとりの子どもの声に耳が傾けられ、真摯に受け止められます。子どもたちは、自分の人生に関わる意思決定に参加し、自分の人生を主体的に担えるよう導かれます。子どもは家族や社会の大事な一員として尊重され、尊厳を持ち、成長します。

すべての子どもは 安全な環境で育ちます

子どもたちは、虐待やネグレクト、搾取から保護され、自然災害や戦争の時も安全を確保されます。子どもたちは避難場所や食料を手にし、健康を守るためのケアや教育を受けることができます。これらはすべての子どもの健全な発達に必要なことであり、基本的な要件なのです。

私たちのミッション

SOS子どもの村が行うこと



SOS子どもの村は、支援を必要とする子どものために家族を築き、子どもが自分の未来を切り開く手助けをし、地域とともに発展していきます。



© Thomas Ernsting



私たちは、支援を必要としている 子どもたちのために家族を築きます

私たちは、親を失くした子どもや親に捨てられた子ども、実家族が養育できない子どものための活動を行っています。私たちは、こうした子どもたちが家族の中で永続的な絆を結ぶ機会をつくります。

SOS 子どもの村の家族を基盤としたアプローチは、4つの原則に基づいています。それは、すべての子どもが母親を必要としていること、兄弟や姉妹として自然な形で育つこと、彼ら自身の家に住むこと、支えてくれる村や地域で育つことです。



私たちは、子どもたちが 自分の未来をきり拓く手助けをします

私たちは、子どもたちが自分の文化や宗教に沿って暮らし、地域の積極的なメンバーとなれるようにします。

私たちは、子どもたちが個々の興味や能力、才能に気づき、それを発揮していけるよう支援します。

私たちは、子どもたちが成功し、社会に貢献できる人になるために必要な教育と訓練を受けられるよう保障します。



© Katerina Ilievska

私たちは、子どもたちが暮らす 地域社会とともに発展していきます

私たちは、地域社会に参加し、社会的に最も弱い立場にある子どもたちのニーズに応じていく社会の実現に取り組みます。

私たちは、家庭機能を強化し子どもの遺棄を防ぐための設備やプログラムをつくります。

私たちは、地域社会と協力して教育や健康を守るためのケアを提供し、緊急事態への対応も行います。

「変えられることに力を結集しよう！
それこそ、私たちがこの数十年で
学んできたことなのです。」

ヘルムート・クティン



私たちの価値

SOS子どもの村を支えるもの

SOS 子どもの村には土台となってきた揺るぎない信念や考え方があります。それが私たちの成功の礎となりました。私たちのミッションを実現していくにあたり、私たちはこれらの不朽の価値に基づいて行動し、決断し、関係を築いていきます。



「究極的には、遺棄された子どもたちのため 我々のすべての活動は、平和への貢献と

勇気

私たちは行動します

私たちは、孤児の養育についてこれまでのやり方に疑問を投げかけ、革新的な子どもの養育アプローチを開拓し続けます。他に助けを求めることのできない子どもたちを助けていきます。繊細さを失わず、でも確信を持てるアプローチで、私たちは世界中の子どもたちのために問いかけ、学び、行動していく決意です。

関わる

私たちは約束を守ります

私たちは、これから先、何世代もの子どもたちがより良い生活を送れるよう取り組んでいます。寄付者や職員、活動している地域社会との持続的な関係を育みながら活動していきます。長期にわたって関わり続けることで、私たちは、持続可能で有益な影響を与えることができると信じています。

めに行っている
認められるだろう。」

ヘルマン・グマイナー

信頼

私たちはお互いを信じます

私たちは、互いの能力と可能性を信じます。互いに助け合い、尊重し、自信を持って自分の責務に取り組むことのできる環境をつくります。信頼に満ちた雰囲気の中で、私たちは経験を共有し、互いに学んでいきます。

責任

私たちは信頼できるパートナーです

1949年以来、私たちは、寄付者や政府、私たちのミッションの実現を支援してくれる協力者らと信頼の基盤を築いてきました。私たちの最大の責務は、養育の水準を高く保つことによって子どものウェルビーイングを保障することです。これを行うにあたり私たちは、すべての資金や資源を敬意と責任を持って賢明に用いることを約束します。

SOS Children's Villages International
Hermann-Gmeiner-Str. 51
A-6020 Innsbruck - Austria

www.sos-childrensvillages.org

Cover photos: © Iván Hidalgo, SOS Archives, Christian Martinelli, Nusrin Somchat